

「世界食料デー」月間 2022 チラシの解説（先生・ファシリテーター用）

● チラシのねらい：

- 世界の食料問題・飢餓と、日本にいる私たちの暮らしが繋がっていることを知る。
- 飢餓はさまざまな原因によって引き起こされていることを知る。

● 解説：

※チラシを使って説明する際の順序は自由です。以下はあくまでも提案や参考資料です。

外面：



● 「世界食料デー」月間とは？

チラシの左ページ上部にある説明を参照る。

詳しくは：<https://worldfoodday-japan.net/about/>

世界食料デー（10/16）は、1945年に国連食糧農業機関（FAO）が創設された日で、「世界の食料問題を考える日」として1981年に国連により定められた。

● 栄養不足とは？

1日に必要なエネルギー量の食事を食べられず、活動的かつ健康的な生活を送れない状態。慢性的な栄養不足を飢餓という。

出典：<https://www.fao.org/japan/portal-sites/foodsecurity/en/>

● 中面につながる問いかけ

栄養不足人口（もしくは飢餓人口）に触れたあと、「世界に飢餓の人がいるのは、世界で作られる食べ物の量が、世界人口に対して不足しているからでしょうか？それとも、十分に作られていても、飢餓の人がいるのでしょうか？」と問いかける。

参照：<https://worldfoodday-japan.net/world/>

中面：



- **外面でした問いかけの回答と、さらなる問いかけと解説**

外面での問いかけの回答として、中央上部の文章を確認※。さらに、「すべての人が食べられないのはなぜ？」と問いかけながら、色の濃くなっている中央部分の右上から順番に、日本に暮らす私たちと世界の食料問題や飢餓問題のつながりを見ていく。

※参照：<https://worldfoodday-japan.net/world/>（「食料価格の値上がりの影響」のグラフ）

- **私たちと世界の食料問題のつながり**

海外から食べ物を輸入しているのにも関わらず、その3分の1も捨てているということは、多くの資源を無駄にすること。輸入した食べ物には、水、土地、肥料、燃料、労働力などの有限な資源が使われている。また、生産・加工・輸送、そして廃棄のために大量の温室効果ガスが排出される。この温室効果ガスによる異常気象は干ばつや洪水を引き起こし、特に雨水に頼る途上国の小規模農家に大きな影響を与える。これは、農業をしても十分な収穫が得られずに飢餓に陥る原因にもなっている。

参照：<https://worldfoodday-japan.net/world/>（特に「フードロス、何が問題？」から下の項目）

- **世界の飢餓の主要原因は？**

2020年以降、長期間、栄養不足（飢餓）にある人は急増した。その原因と言われているのは、紛争、異常気象、経済の低迷、貧困と格差、そしてコロナ禍やウクライナでの戦争などによる物流の停止・食料価格の高騰など。

- **食料問題はSDGsの他の目標と関係があるのか？**

SDGsの目標2「飢餓をゼロに」は、他の目標とも関連している。左上の角にある問いかけからスタートし、時計回りで各目標と食料問題の関係を確認する。

参照：<https://worldfoodday-japan.net/sdgs/>（より詳細は「食の視点から考えるSDGs」へ）

- **+α 自分たちにできることを考えてみる**

世界の今を知ったら、ぜひこれから自分たちにできることを考えてみてほしい。

参照：<https://worldfoodday-japan.net/join/interviews/>（行動している人のインタビュー集）